

七条中学校だより7月8号

京都市立七条中学校

令和8年7月9日

発行:校長 林 秀雄

目的・目標・手段を考えよう

みなさんには、それぞれ将来の夢や実現したいことがあると思います。希望する高校に進学したい、部活動で活躍したい、得意なことをさらに伸ばしたい、人の役に立つ仕事に就きたいなど、その内容は人それぞれです。このような「最終的に実現したいこと」を**目的**といいます。

しかし、目的はすぐに達成できるものではありません。そこで、目的に近づくために「定期テストで80点以上を取る」「英検に合格する」「レギュラーになる」などの具体的なめあてを立てます。これが**目標**です。

その目標を達成するために、「毎日1時間勉強する」「英単語を10個覚える」「自主練習を続ける」といった具体的な行動を行います。これが**手段**です。

つまり、「**目的 → 目標 → 手段**」という流れで考えることが大切です。

例えば、高校進学を目的とするなら、定期テストで良い成績を取ることが目標になります。そして、その目標を達成するために毎日家庭学習を続けることが手段になります。ここで気を付けてほしいことがあります。それは、**手段が目的や目標になってしまうことです**。本来は高校進学が目的なのに、「毎日1時間机に向かうこと」だけで満足してしまっではどうでしょうか。机に向かうことはできても、学力が伸びていなければ目的には近づけません。部活動でも同じです。大会でよい成績を収めることが目的なのに、「練習に参加すること」だけが目的になってしまうのは、本当の意味での成長にはつながりません。

私たちの学校生活には、このような例がたくさんあります。「宿題を提出する」「ノートをきれいにまとめる」「朝早く登校する」ことは大切です。しかし、それらはすべてよりよい学びや成長のための手段です。宿題を出すことだけが目的になれば、答えを書くだけで終わってしまいます。ノートをきれいに書くことだけを意識すれば、授業内容を理解するという本来の目的を見失うかもしれません。また、人は努力を続けているうちに、いつの間にか手段そのものに満足してしまうことがあります。しかし、本当に大切なのは「その努力によって自分がどう成長したか」ということです。時には立ち止まり、「この方法は目的につながっているだろうか」「もっとよい方法はないだろうか」と考えることも必要です。目的がはっきりしている人ほど、自分の手段を見直し、改善しながら前へ進むことができます。

来週から三者懇談が始まります。三者懇談は成績を見て終わる場ではなく、これまでの学校生活を振り返り、自分の成果と課題を確認する大切な機会です。今の自分は目的に向かって進めているのか、目標は適切だったのか、そのための手段は効果的だったのかを見つめ直してほしいと思います。

特に3年生にとっては進路について真剣に考える時期ですし、1・2年生にとっても自分の将来や学校生活を見つめる良い機会となります。保護者や先生と話をすることで、自分では気付かなかった長所や課題が見えてくることもあるでしょう。ぜひ前向きな気持ちで三者懇談に臨んでください。

その後には夏休みが待っています。夏休みは普段以上に自分で時間を使うことができる期間です。だからこそ、自分の目的をしっかりと持ち、そのための目標を定め、具体的な手段を考えて行動することが大切になります。宿題を終わらせることだけが目的ではありません。自分の力を伸ばし、成長することが本当の目的です。

夏休みは34日あります。34日という時間は長いようで、何となく過ごせばあっという間に終わってしまいます。しかし、明確な目的を持って過ごせば、大きく成長することができます。苦手教科を克服する、読書の習慣を身に付ける、新しいことに挑戦する、家族や地域のために役立つ活動をするなど、一人ひとりが自分なりの目標を持って取り組んでほしいと思います。

三者懇談を一つの節目として自分自身を振り返り、夏休みには新たな目標に向かって挑戦してください。そして、「目的」「目標」「手段」の違いを意識しながら、手段が目的にならないよう、一日一日の努力を積み重ねてほしいと思います。

目的が明確になれば、目標が定まります。目標が定めれば、必要な手段が見えてきます。そして、努力を続けながら自分自身を振り返ることで、目的に少しずつ近づいていくことができます。皆さんが自分の目指す姿をしっかりと見据え、充実した夏休みを過ごし、一回り大きく成長した姿で2学期を迎えてくれることを期待しています。